

追跡 ありやあどうなった?

一年前の主要事業が、今はどうなっているか? 追跡しました

和牛の里 1年前ののどかな風景



神石高原和牛の里団地

大正7年に広島県種畜場として設立された、広島牛改良センターは、平成20年4月、県から町に移譲されました。町は、平成20年度当初予算で144万円の管理経費を計上し「神石高原和牛の里」として開発することになりました。

今はこうなっています

草地林地一体利用総合整備事業にて整備中



元気に育つ繁殖牛



牛舎、堆肥舎予定地

7月1日から農事組合法人「神石高原和牛の里」が指定管理者となり既存牛舎の一部で和牛飼育と牧草地の管理、収穫を行っています。また、全農広島は既存牛舎を改造して繁殖和牛102頭を飼育しています。

町では、神石高原和牛の里での和牛増頭に向けて、国の補助事業である草地林地一体的利用総合整備に取り組んでいます。平成20年度では、総事業費2,462万円で、牛舎・堆肥舎の敷地造成、放牧地の整備、草地の改良を行いました。平成21年度では、総事業費1億2,204万円で、牛舎1棟、堆肥舎1棟、牧場用機械2台を導入する計画です。これにより、農事組合法人では60頭飼育を目指しています。

また、旧広島牛改良センターは、大正7年に広島県種畜場として設立され、長い歴史を持っています。その一部を和牛記念館として、受精卵移植棟1階に展示してあります。自由に見学できますので、足を運んでみてください。

CATV事業 地元企業による事業展開は可能か

調査研究目的
ケーブルテレビの利用料をいかに安くできるか。
町内での起業による雇用の場の創出・若者定住など、神石高原町における活性化の一助に資すること。

調査研究日
2月24日(火)

調査研究場所
○岡山県笠岡市 大井ハイランド町内会
○笠岡放送株式会社(ゆめ☆ネット)岡山県笠岡市

参加者
議会議員全員・議会事務局長・事務局書記

調査研究結果
笠岡市 大井ハイランド町内会
リモコンの簡単な操作で公共の情報(デジタルデータ放送)が得られる。笠岡放送株式会社(ゆめ☆ネット)
笠岡放送(株)本社にて、編集設備・放送設備など調査。

可能性
*有線テレビジョン放送に限定すれば、地元民間企業による経営が可能。

問題点
*設備・機器の更新。情報機器は高価で進歩が早い。
*インターネットサービスには専門の社員が必要。また通信事業の認可が必要
◇CATV事業導入にあたって
*国の補助には、条件が多く、無駄と思われる投資で、機材の更新も自由にならない。
*導入に当たっては必要最低限の設計から始めるべきである。
*23年7月から放送を開始すべきである。



笠岡夢ネット研修

町立病院の医療体制の確立と安定運営をめざして

調査研究目的
4月1日開設予定の「神石高原町立病院」経営における、財政負担及び指定管理者制度による管理の現状と問題点などについて、先進事例を調査研究し、本町における医療体制の確立と長期安定的医療の供給に資する。

日時
1月20日～22日

調査研究場所
○市立大村市民病院
大村市役所・大村市議会(長崎県大村市)
○公立新小浜病院
雲仙・南島原保健組合(長崎県雲仙市小浜町)

参加者
町長・町議会議員全員・議会事務局長

まとめ
1)お互いに「公的病院経営」の責任として地域医療を長期的に安定・確保するために「指定管理者制度」をとりいれている1市・1組合を視察した。
2)所有者及び指定管理者がともに黒字体制となるよう努力すること。
神石高原町立病院は公的医療機関としての責任

を持つている。総合的な医療の提供が必要であり、全ての不採算部門の切捨ては出来ない。病診連携など医療機関どうしや介護施設との連携体制の確保が必要である。
3)所有者及び指定管理者の信頼関係の構築が重要である。長期的な視野に立ち医療体系を整備すべきである。
★財政の健全化のためさらに検討すべき事項。
①赤字補填について、具体的に定めること。
②財政支援について、交付金の限度額を定めること。
③一時貸付金については本町の財政状況を充分勘案し決定すること。
④寄宿舎の利用・管理規定を定めること。
⑤給与の激変緩和措置については、県と病院側の検討課題である。
⑥減価償却費負担の検討。
⑦県からの病院移管交付金は、基金条例を定め計画的な基金積立を講じる事。